（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	あそびと学びの場づくり　インクルーシブ教育事業
事業主体 （連絡先）	一般社団法人 笑顔の花 399-3202　長野県安曇野市豊科 4932 番地 13
事業区分	（２）保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,413,925　円（うち支援金：1,810,000 円）

事 業 内 容

年齢や性別、障がいや病気の有無に関わらず、多様な子どもと家族が安心して集えるインクルーシブな「あそびと学びの場」を提供した。屋内あそび広場では療育遊具を活用し、親子や地域住民が交流できる機会を創出。ワークショップや体験会では医療・福祉・教育の専門職と連携し、実践的な学びの場を展開した。さらに勉強会を通じて多世代が交流し、障がい理解と共生意識を育む地域コミュニティづくりを推進した。地域ニーズに応じた柔軟な運営により参加の裾野を広げ、他地域への展開可能なモデル事業としての基盤を構築した。**多世代が日常的に関わり合う持続可能な地域共生の仕組みづくりにも寄与した。**

インクルーシブ × 多世代×地域のつながり

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①居場所づくり：あそび広場延べ 1,005 人が参加し、多様な子どもと家族の交流機会を創出し、孤立防止に寄与した。
②人材育成：学びの場・勉強会に延べ 744 人が参加し、専門職や学生、保護者など多様な担い手の育成につながった。
③地域連携：行政・大学・子育て支援・福祉団体と連携し、分野横断的なネットワークを形成し、地域全体で支える体制づくりが進んだ。

【目標・ねらい】

①障がいの有無に関わらず誰もが参加できる居場所の創出
②多世代交流を通じた地域コミュニティの活性化と孤立防止
③医療・福祉・教育分野と連携した人材育成と担い手の確保
④地域・行政・企業等との連携による共生社会の実現

※自己評価【　A　】

【理由】多様な子どもと家族が集うインクルーシブな場に加え、地域住民・看護学生・専門職との連携が広がり、事業の発展性が向上。特に、ボランティアセンターやこども育成会やこども食堂、看護師・保育士との継続的な連携体制が構築されたことが大きな成果である。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

継続的な開催により、誰もが安心して集える地域の居場所として定着を図るとともに、担い手育成の学びの場を強化し、インクルーシブな場づくりを担う人材を育成する。自治体や大学、民間団体との連携をさらに深め、地域全体で支える仕組みを構築する。また、参加費や寄付、協賛企業の確保など多様な財源を組み合わせ、持続可能な事業運営を目指す。他地域への展開や横展開を視野に入れた活動を推進する。地域特性に応じた実践モデルとして体系化し、継続的な普及と発展につなげる。**多様な主体の参画を促進しながら推進する。**

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある